



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2022年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	33,177	22.6	279		603	656.0	460	
2021年3月期第3四半期	27,055	13.4	102		79	77.4	20	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,631百万円 (462.0%) 2021年3月期第3四半期 290百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	23.55	
2021年3月期第3四半期	1.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	27,034	11,511	42.6	588.05
2021年3月期	22,999	9,918	43.1	506.69

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,511百万円 2021年3月期 9,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		2.00	2.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	22.3	400		650	341.8	530	383.8	27.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	20,102,000 株	2021年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	527,054 株	2021年3月期	527,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	19,574,946 株	2021年3月期3Q	19,575,040 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種普及や各種経済政策により、徐々に経済活動の持ち直しの動きが見られたものの、オミクロン株による感染拡大の懸念もあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「成長戦略」として①自社品事業の強化 ②アスレチックビジネスの深化 ③ライフスタイルビジネスの進化 ④主力ブランドの再強化 ⑤EC市場での多面的対応 ⑥商品・ブランドの絞り込みと新規販路の開拓に取組み、「構造改革」として①利益率の向上 ②経営の生産性向上 ③物流改革に取組みました。また、「体質強化」として①人財と組織の活性化 ②グループの一体化に取組みました。この方針のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,177百万円（前年同期比22.6%増）、営業利益は279百万円（前年同期は営業損失102百万円）、経常利益は603百万円（前年同期比656.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は460百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失20百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

（卸売部門）

卸売部門は、コロナ禍の影響で、特に国外の生産体制が逼迫し、一部の商品に供給取り止めや遅れが続いていますが、「アスレックス」マーケットは、前年同期に比べ営業活動の制限が緩和され、特に、第3四半期会計期間は感染者が大きく減少し経済活動が正常化したこと、事業譲受効果もあり前年同期比で大幅に増収となり、コロナ禍前と比較しても増収となりました。「ライフスタイル」マーケットはアウトドア用品が引き続き堅調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、事業譲受による事業拡大により堅調に推移しました。

この結果、売上高は31,893百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

（製造部門）

製造部門は、商品企画、生産計画、販売戦略の精度をさらに上げ、製品認知度の向上、在庫ロスの低減、売り逃しの削減に努めました。中でも商品企画においては、硬式野球用ヘルメットが2021年度グッドデザイン賞を受賞し、ゼットブランドの向上に寄与しました。「コンパース」のバスケットボール用品は、屋内スポーツの回復が厳しい状況であり、大幅減収となった前年同期比では回復しつつありますが、コロナ禍前までには回復していません。

この結果、売上高は180百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

（小売部門）

小売部門は、アウトドア用品の人气が継続し、コロナ禍前と比較しても堅調に推移しました。登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」はインターネット販売購入者が増加傾向にあり、引き続き堅調に推移しました。また、店頭販売は、前期において緊急事態宣言に伴い約1ヶ月間休業したことによる反動にて増収となりました。

この結果、売上高は423百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

（その他部門）

スポーツ施設運営部門は、前年同期比では微増収となりました。感染症対策徹底の告知、新規トレーニングマシン導入等施設魅力の向上による新規会員数増加や休会者の復帰に努めましたが、会員数がコロナ禍前に戻らず、オミクロン株の出現等感染症の収束が見通せず厳しい状況が続いております。

物流部門は、経済活動が回復傾向にあり、前年同期比とほぼ同水準で推移しました。

この結果、売上高は679百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が20,193百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,471百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,129百万円減少したものの、現金及び預金が2,204百万円、電子記録債権が574百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,563百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1,668百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は27,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,035百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,013百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務1,462百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ429百万円増加いたしました。これは主に長期借入金149百万円減少したものの、繰延税金負債が533百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は15,523百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,442百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産合計は11,511百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,592百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が1,155百万円、利益剰余金が421百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.6%（前連結会計年度末は43.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては2021年11月11日の「第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,138	7,343
受取手形及び売掛金	8,037	6,907
電子記録債権	1,073	1,647
商品及び製品	3,189	3,593
仕掛品	59	54
原材料及び貯蔵品	123	136
返品資産	—	401
その他	178	248
貸倒引当金	△78	△140
流動資産合計	17,721	20,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,832	2,839
減価償却累計額	△2,087	△2,112
建物及び構築物（純額）	745	727
土地	1,228	1,228
その他	890	850
減価償却累計額	△709	△710
その他（純額）	181	140
有形固定資産合計	2,154	2,095
無形固定資産		
その他	106	137
無形固定資産合計	106	137
投資その他の資産		
投資有価証券	2,398	4,066
長期貸付金	13	12
敷金	206	221
その他	475	517
貸倒引当金	△78	△209
投資その他の資産合計	3,016	4,607
固定資産合計	5,277	6,841
資産合計	22,999	27,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,888	6,001
電子記録債務	3,454	4,916
短期借入金	206	206
未払法人税等	41	125
未払消費税等	154	82
賞与引当金	234	193
返品調整引当金	46	—
返金負債	—	471
その他	769	812
流動負債合計	10,795	12,809
固定負債		
長期借入金	532	382
繰延税金負債	449	982
退職給付に係る負債	332	343
長期未払金	11	11
その他	959	994
固定負債合計	2,285	2,714
負債合計	13,080	15,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	4,638	5,059
自己株式	△74	△74
株主資本合計	8,537	8,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,375	2,530
繰延ヘッジ損益	4	6
為替換算調整勘定	11	21
退職給付に係る調整累計額	△10	△7
その他の包括利益累計額合計	1,380	2,551
純資産合計	9,918	11,511
負債純資産合計	22,999	27,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	27,055	33,177
売上原価	22,029	26,973
売上総利益	5,025	6,204
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	316	324
運賃及び荷造費	556	694
賃借料	225	207
役員報酬及び給料手当	2,160	2,343
貸倒引当金繰入額	1	195
賞与引当金繰入額	88	179
減価償却費	101	109
その他	1,677	1,869
販売費及び一般管理費合計	5,128	5,924
営業利益又は営業損失(△)	△102	279
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	15	16
受取賃貸料	8	7
業務受託料	7	4
助成金収入	121	281
受取補償金	45	—
その他	14	17
営業外収益合計	214	328
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	23	—
その他	5	2
営業外費用合計	31	4
経常利益	79	603
税金等調整前四半期純利益	79	603
法人税、住民税及び事業税	30	133
法人税等調整額	69	9
法人税等合計	99	142
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20	460
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20	460

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20	460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	320	1,155
繰延ヘッジ損益	△12	2
為替換算調整勘定	△0	10
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	310	1,170
四半期包括利益	290	1,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290	1,631

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。